

講義科目名称： 看護学概論

授業コード： 2230100100

英文科目名称： Introduction to Fundamental Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員			
◎岡村典子、川島良子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎岡村 典子</p> <p>【研究室】 216</p> <p>川島 良子 206</p> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】</p> <p>○ ◎</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	看護の基本的な概念と理論を看護の歴史や制度を踏まえながら学ぶとともに、看護学の初学者として看護及び看護学に関する自らの展望をもつことを目標とする。
授業概要	「看護とは何か」を踏まえて、看護の対象である人間を捉えるための知識を学修する。さらに、基本的な看護学の概念及び理論、看護活動及び職業としての看護等について学習を進めていく。
授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護、看護学の理解 学習内容：看護、看護学とは 備考：岡村</p> <p>2-3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護とは何かを考える（1） 学習内容：看護における主要概念の理解（人間、健康、環境） ケアとは 備考：岡村</p> <p>4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護とは何かを考える（2） 学習内容：看護の専門性と看護実践（看護技術） 看護実践（看護技術）適用の原則とアセスメント 備考：岡村</p> <p>5 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護の対象についての理解（1） 学習内容：看護の対象としての理解 人間の特性とその理解 備考：川島</p> <p>6 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護の対象についての理解（2） 学習内容：生活者としての人間 健康と生活 備考：川島</p> <p>7-8 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護職の職業的発展、法的根拠 学習内容：職業としての看護 保健師助産師看護師法、及びそれに関わる諸規定 看護職の養成制度 備考：岡村</p> <p>9 授業内容 授業形態：対面</p>

	<p>学習課題①：看護における倫理  学習内容①：基本的人権、倫理原則、職業倫理  対象の人権尊重と権利擁護</p> <p>学習課題②：看護業務に関する情報  学習内容②：情報の種類  情報の記録・報告・共有</p> <p>備考：岡村</p> <p>10 授業内容  授業形態：対面  学習課題：看護活動（機能・役割）  学習内容：看護活動の場と看護職の役割・機能（災害時の対応）  医療事故と起こる要因、医療事故の法的責任、医療事故防止対策  看護における連携と協働  保健・医療・福祉の連携と継続看護</p> <p>11 備考：岡村  授業内容  授業形態：対面  学習課題：看護理論  学習内容：看護理論とは  看護理論の機能、範囲</p> <p>12 備考：岡村  授業内容  授業形態：対面  学習課題：看護理論家の理解①  学習内容：ナイチンゲール</p> <p>13 備考：岡村  授業内容  授業形態：対面  学習課題：看護理論家の理解②  学習内容：ヘンダーソン</p> <p>14 備考：川島  授業内容  授業形態：対面  学習課題：看護理論家の理解③  学習内容：ペプロウ</p> <p>15 備考：岡村  授業内容  授業形態：対面  学習課題：看護理論家の理解④  学習内容：オレム  備考：岡村</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：「看護とはなにか」について、いまの自分の考えをまとめる。  事後学習：改めて「看護とは」について考えるとともに、さらに深めたい課題を明らかにしその課題に取り組む。</p>
評価方法、評価基準	<p>到達目標に対し、期末試験及び課題にて下記のように評価する。  1. 期末試験80%：期末試験として、目標達成度を最終的に評価する。  2. 課題20%：課題内容は、学習の進行に応じて講義時に説明する。</p>
必携図書	<p>茂野香おる他著：系統看護学講座専門分野Ⅰ 看護学概論，医学書院。  筒井真優美編：看護理論 看護理論21の理解と実践への応用，改訂第3版，南江堂。  Virginia Henderson 湯楨ます他訳：看護の基本となるもの，日本看護協会出版会。</p>
参考図書・資料等	<p>Florence Nightingale 薄井坦子他編：看護覚え書，現代社。  Hildegard E. Peplau 稲田八重子他訳：ペプロウ人間関係の看護論，医学書院。  Dorothea E. Orem 小野寺杜紀訳：オレム看護論 第4版，医学書院。  Milton Mayeroff 田村真他訳：ケアの本質 生きることの意味，ゆみる出版。</p>
受講、課題、資料配布等のルール	<p>授業は時間の中で順序立てて進めていくため、20分を超える遅刻や途中退出は欠席とみなし、遅刻3回で1時限分の欠席とする。なお、出席日数が規定に満たない学生は試験を受けることはできない。  学習課題の順番は変更する場合がある。</p>
教員からのメッセージ	<p>看護学に関する先人の知恵、基本的な考え方を学びます。自らの課題を見つけて取り組み、看護観（看護に対する考え）を育んでいきましょう。</p>
オフィスアワー	